



令和元年度 第2回 神谷地区 地域円卓会議

日時 令和2年2月21日(金) 午後6時30分～午後8時00分

場所 神谷区民センター 2階 第1ホール

議事要旨

【開会】

神谷連合町会長あいさつ

地域のきずなづくり担当副参事あいさつ



1 地域円卓会議について

- ・事務局から、本日の進め方等について説明した。また、連合自治会長を座長とさせていただく旨説明した。

2 参加者が自己紹介・活動紹介を1人2分で行った。



3 「台風19号について」意見交換

(台風に対する取り組みについて、他の団体に手伝ってほしいことや、他の団体に協力できることを1人3分間の発表後、意見交換を行った。)

いただいた主な意見

- ・高齢者が避難場所までどう避難するか課題。
- ・退所者が地域とのつながりが薄いので、退所者に情報提供をしていきたい。
- ・危険な場所の情報を広報し、こういった対応をしていくか考えていきたい。
- ・船外機をついたボートの操縦訓練とかもやっている。
- ・児童には、小学校からの一斉メールで対応を送っているが、今後通信の手段等を考えていきたい。
- ・情報伝達が一番大切。防災放送で情報を流していたが何をいっているかわからなかった。防災放送より、サイレンの音とかにしてほしい。
- ・各町会の防災地図を作ると避難しやすいので作っていかねばいけない。
- ・2人以上の子どもを連れている親の避難や、学童クラブ(40人ぐらいが通う)を避難場所の西が丘小学校まで誘導するのに、地域の人力を貸してほしい。
- ・大分の佐伯市では、5日分の市民の食料をあずかれるように、高台に倉庫を作った。
- ・水害時にはすぐには避難できないので、何日か前に避難できるようにしたい。

- ポンプ車で防災放送を流して町内を回れないか。可能だが放送が声がおとるかどうかが疑問である。
- JRの鉄橋で、川がせき止められるので、水は鉄橋に沿って横に流れるので、土嚢とかを鉄橋基部につんでもあつという間に決壊する。
- 事前に避難する事と、直前になったら命を守る行動をとることが大切。
- 台風の時、防災放送は聞こえづらいので、サイレンなどで流した方がいい。
- 水害時、屋根の上に避難しなければいけないが用意してあるか。
- ニトリとか大きな企業に、避難場所を水害時協力してもらえないか。
- 障害者及び要援護3以上の方は地域のどのあたりに住んでいるのか、戸別訪問している。11人しか職員がいないので助けに行けるかどうかは疑問。
- 西が丘小学校に水害時に避難するが、避難先に避難時に協力を得られるよう話し合いを十分しておくことが重要。
- 避難先へ行く時、JRの高架下の地下道を通っていかないと避難できないので、雨が降っている時避難するのは、現実的ではない。ニトリとかに避難の方が現実的である。
- 北本通りは地下にキャブで電線溝等があるが、水に埋まると復旧が大変である。
- 学校が終わり遊んでいる時に地震が起きた時、各家庭で家庭の集合場所に行けるよう、集合場所を確認するようにしてほしい。

【閉会】

神谷連合町会長あいさつ

